

よくある質問 Q & A

家庭の節電マネジメント (デマンドレスポンス) 事業

令和6年2月1日

公益財団法人東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター
(愛称：クール・ネット東京)

【目次】

1. 本事業の実施体制・実施期間について.....	2
2. 助成対象事業について	3
3. 助成対象経費について	6
4. 助成事業の公表について	12
5. 助成対象事業者による報告等について.....	13
6. HTT 情報の周知について	15
注：改訂履歴	15

本資料で用いる用語は、家庭の節電マネジメント（デマンドレスポンス）事業実施要綱及び助成金交付要綱に定めるものとする。

1. 本事業の実施体制・実施期間について

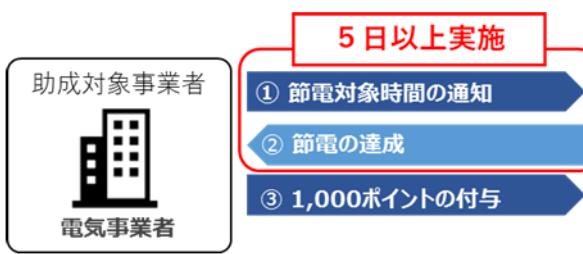
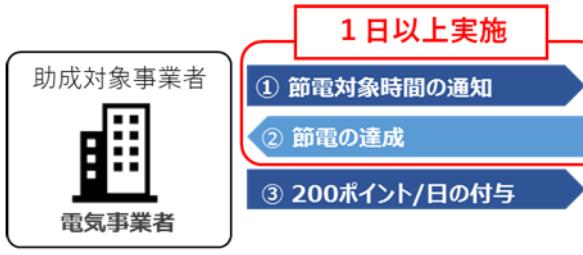
番号	質問	回答
101	電気事業者が実施する節電キャンペーンは、通年または都節電推進期間をまたいで実施することも可能ですか？	助成対象事業者で実施する節電キャンペーンについては、通年または都節電推進期間をまたいで実施することも可能です。 ただし、どちらの場合であっても都節電推進期間の夏と冬それぞれにおいて、原則として5日以上の節電要請及び節電を達成した需要家への上乗せポイント付与を実施することが必要です。
102	電気事業者とアグリゲータなど複数社で共同申請することは可能ですか？	本事業においては、小売電気事業者又は一般送配電事業者のみ申請者となることができ、共同申請は想定しておりません。 電気事業者がアグリゲータ等と連携して節電キャンペーンを実施する場合は、それぞれの役割について、第2号様式の体制表に記載してください。

2. 助成対象事業について - ①

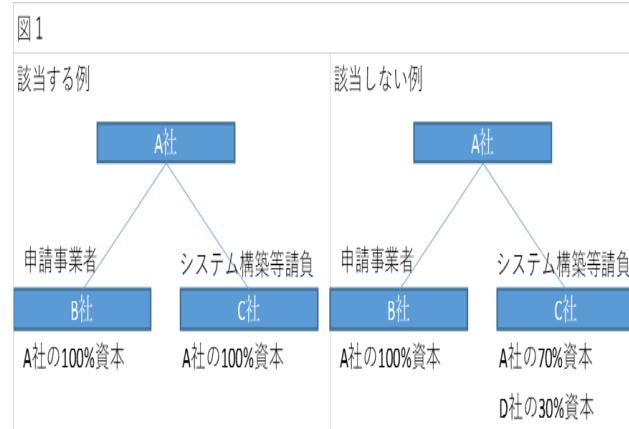
番号	質問	回答
201	「節電の時間帯」を需要家に周知するタイミングにルールはありますか？	<p>需要家に周知するタイミングは、前日又は当日の数時間前などタイムリーに行っていただくことを想定しております。</p> <p>また、「節電の時間帯」は、電力のひっ迫状況や電力需給予測等を踏まえ、その時々に応じた時間帯を設定することを想定しています。</p> <p>終日や、連日固定した●時から●時など、電力ひっ迫状況等を踏まえない設定は想定していません。</p> <p>【参考】電気料金型ディマンドリスポンスではなく、インセンティブ型ディマンドリスポンスを想定しています（下ページ参照）。</p> <p>https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electricity_measures/dr/dr.html</p>
202	汎用性のあるポイントとはどのようなものが想定されていますか？	単独の店舗や企業でしか使えないポイントとは違い、共通ポイントサービスに加盟している幅広い店舗や企業で利用できるポイントを想定しています。
203	契約者と使用者が異なる場合でも上乗せポイント付与の対象になりますか？	需要家の受電点が都内にあれば、上乗せポイント付与の対象です。
204	節電キャンペーン期間中に他道府県から東京都へ転入・転出があった場合、受電点が都内にあるかを確認する基準日はどのように考えればよいでしょうか？あわせて、再エネ100%契約等であるかを確認する日はどのように考えればよいでしょうか？	電気事業者において、節電キャンペーン期間内の基準日又はその考え方を予め設定し、需要家に事前に周知している場合は、それに基づきご対応ください。（都で基準日は設定しません。）

2. 助成対象事業について - ②

番号	質問	回答
205	節電キャンペーンを数か月間連続した期間で設定し、まとめて一定期間節電を要請した場合は、この要請をもって5日以上の節電要請とみなすことはできますか？	上記201にある「節電の時間帯」に該当しないため、5日以上の節電要請には当たりません
206	自社独自の取組として、節電要請に応じた需要家に対してポイント付与を行うことは可能ですか？	本事業とは別に、自社の負担でポイント付与を行うことは可能です。 その場合、都事業によるポイントを上乗せして付与いただくことになります。
207	国や他の地方公共団体が同様の節電ポイント事業を実施する場合、都の制度と併用できますか？	本事業では併用可能です。類似制度において、国や地方公共団体から需要家にポイントが付与される場合は、これとは別に上乗せポイントを付与してください。
208	高圧一括受電した電気をマンション住民に低圧で電気を販売している場合、本事業の助成対象事業者となりますか？	助成対象事業者は、小売電気事業者又は一般送配電事業者であって、当該敷地の受電点で低圧で販売している場合が対象であり、高圧一括で受電し、敷地内で住民に低圧に変換して販売する場合は対象外です。
209	「節電を達成した需要家に対し、1需要家当たり最大1,000円相当（再エネ100%契約の需要家の場合は1需要家当たり最大2,000円相当）のポイントを付与すること」とは、具体的にはどのようなポイント付与方法を指しますか？	以下の2通りの付与方法から選択可能です。 ①5日以上の節電達成の需要家にポイント付与（5日以上達成1,000P） ②節電達成日数に応じたポイント付与（1日達成200P、2日達成400P、3日達成600P、4日達成800P、5日以上達成1,000P） 詳しくは、下図を参照してください。

209-2	<p>「節電を達成した需要家に対し、1需要家当たり最大1,000円相当（再エネ100%契約の需要家の場合は1需要家当たり最大2,000円相当）のポイントを付与すること」とは、具体的にはどのようなポイント付与方法を指しますか？</p>	<p>① 5日以上の節電達成の需要家にポイント付与（5日以上達成1,000P）</p>  <p>5日以上実施</p> <p>助成対象事業者 電気事業者</p> <p>① 節電対象時間の通知 ② 節電の達成 ③ 1,000ポイントの付与</p> <p>家庭等の需要家（低圧）</p> <p>② 節電達成日数に応じたポイント付与（1日達成200P、2日達成400P、3日達成600P、4日達成800P、5日以上達成1,000P）</p>  <p>1日以上実施</p> <p>助成対象事業者 電気事業者</p> <p>① 節電対象時間の通知 ② 節電の達成 ③ 200ポイント/日の付与</p> <p>家庭等の需要家（低圧）</p> <p>※再エネ100%契約等の場合はいずれも倍のポイントを付与</p>
-------	--	---

3. 助成対象経費について - ①

番号	質問	回答				
301	ソフトウェア及びクラウド利用等を外注した場合、その事業者を途中で変更することは可能ですか？	交付申請時に見積りをした外注先を変更することはできません。 ただし、事業期間の令和5年から6年までの間、同一の外注先とすることは補助要件としておらず、申請時に前回までと異なる外注先にすることは可能です。				
302	システム構築等の外注先は、複数社に分けることは可能ですか？	申請の段階から複数社の委託で申請・審査を受けていれば複数社に委託することも可能です。申請時に提出する仕様書、見積書については全ての外注先の分を添付してください。				
303	省エネ機器への変更や、外出を促すことで節電に導く場合、それらの取組誘導に必要な設備やシステム構築にかかる経費も助成対象となりますか？	補助対象は、本事業を実施するために最低限必要な経費に限っており、取組誘導にかかる経費については助成対象外です。				
304	利益等排除の対象となる場合の「100%同一の資本に属するグループ企業」は、具体的にはどのような場合ですか？	以下の関係にある場合、100%同一の資本に属するグループ企業に該当します。（図1）  <p>図1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>該当する例</th> <th>該当しない例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の100%資本</p> </td> <td> <p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の70%資本</p> <p>D社 D社の30%資本</p> </td> </tr> </tbody> </table>	該当する例	該当しない例	<p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の100%資本</p>	<p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の70%資本</p> <p>D社 D社の30%資本</p>
該当する例	該当しない例					
<p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の100%資本</p>	<p>A社</p> <p>申請事業者</p> <p>B社 A社の100%資本</p> <p>C社 A社の70%資本</p> <p>D社 D社の30%資本</p>					

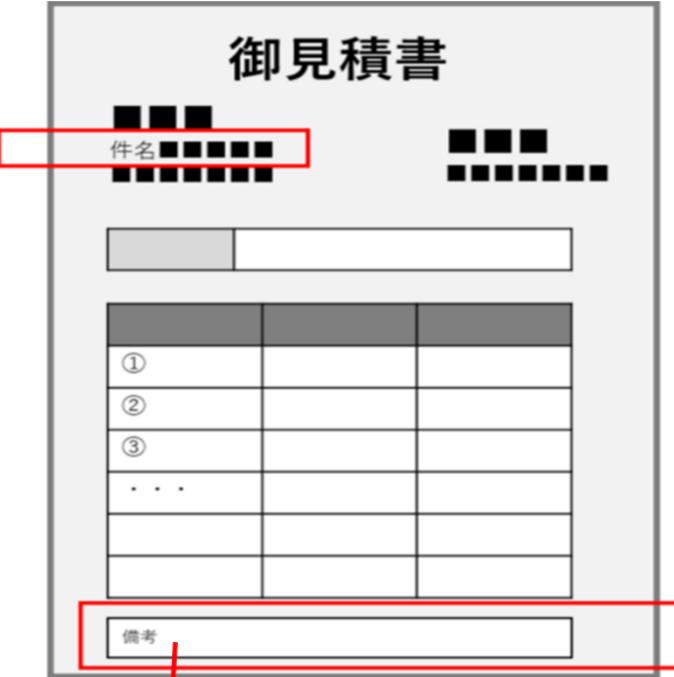
3. 助成対象経費について - ②

番号	質問	回答
305	ソフトウェア及びクラウド利用料等の交付対象となる期間の考え方について教えてください。	<p>原則として、申請年度分のキャンペーン実施に必要な経費であれば、都節電推進期間に限定いたしません。</p> <p>ただし、交付決定後から当該申請の完了届提出前までの契約期間としてください。その場合、申請年度の翌年度にまたがっていても、申請年度分のキャンペーン実施に必要な経費であれば認められます。</p> <p>また、直前の申請（例えば令和5年夏キャンペーンの申請の場合は令和4年冬キャンペーンの申請）のソフトウェア及びクラウド利用料等とは重複しない契約期間としてください。</p> <p>例えば、令和5年夏キャンペーン申請において、令和5年夏キャンペーン開始前であっても、都事業のための申込受付等でソフトウェアを稼働させている期間は対象期間として認められます。</p> <p>また、令和5年冬キャンペーン終了後であっても、都事業のためのポイント付与やデータ分析等、申請年度分のキャンペーン実施に必要な経費が発生する場合は交付対象期間となります。</p> <p>なお、都節電キャンペーンを含まず、自社の節電キャンペーンの実施に必要な経費のみの場合は対象経費に含まれません。</p>
306	ポイント等の購入にかかる手数料（ポイント発行手数料など）は助成対象経費として認められますか？	ポイントの発行手数料等については、助成対象経費として認められません。助成対象経費は都内で節電を達成した需要家の件数に最大1,000円を乗じた額となります。（再エネ100%契約等の場合は最大2,000円）

3. 助成対象経費について - ③

番号	質問	回答
307	<p>システム構築等、ソフトウェア及びクラウド利用料等の助成を申請する場合、見積書に必要な記載事項を教えてください。</p>	<p>見積書、見積明細等は以下の事項が確認できるものをご提出ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本事業名または自社の節電キャンペーン名称 ② 都事業の実施に必要な経費以外は含まれていない旨の記載（申請対象の節電キャンペーンが都事業のみである場合）または都事業に該当する経費の項目番号の記載（自社キャンペーンが含まれる場合） ③ 見積の各費用が「助成金交付の手引き」別表第1（第5条関係）に示す助成対象経費のうち該当する項目の記載 <p>また、申請者は見積書、見積明細等に基づいて第1号様式、別紙内訳明細書を正確に作成してください。</p> <p>以下に示す、各書類のイメージ図を参考にしてください。 （必ずしもイメージ図通りでなくても、都の助成対象であることが明確に分かるように記載されていれば問題ありません。）</p>

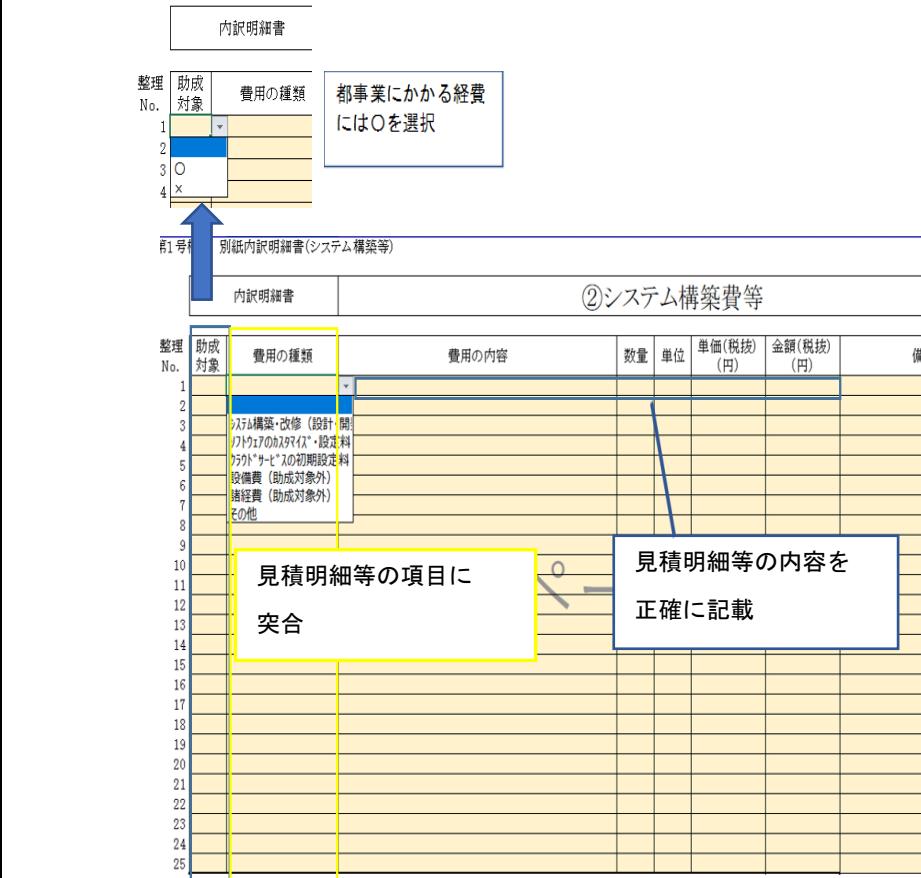
3. 助成対象経費について - ④

番号	質問	回答
307-2	システム構築等、ソフトウェア及びクラウド利用料等の助成を申請する場合、見積書に必要な記載事項を教えてください。	<p>●見積書作成における注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都事業のみの場合、「東京都家庭の節電マネジメント事業」を記載 ・都事業以外を含む場合、自社のキャンペーン名を記載  <p>・都事業のみの場合、都事業の実施に必要な経費以外は含まれていない旨を記載</p>

3. 助成対象経費について - ⑤

番号	質問	回答																																																	
307-3	システム構築等、ソフトウェア及びクラウド利用料等の助成を申請する場合、見積書に必要な記載事項を教えてください。	<p>●見積明細 イメージ</p> <p style="text-align: center;">御見積書の詳細</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>費用名称</th> <th>大項目</th> <th>概要</th> <th>詳細</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①-1</td> <td>ソフトウェアのカスタマイズ</td> <td></td> <td></td> <td>..</td> <td>..</td> <td>..</td> </tr> <tr> <td>①-2</td> <td>クラウドサービスの利用</td> <td></td> <td></td> <td>..</td> <td>..</td> <td>..</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>データ分析</td> <td></td> <td></td> <td>..</td> <td>..</td> <td>..</td> </tr> <tr> <td>③-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>別表第1（第5条関係）の2助成対象経費の項目を記載</p> <p>(1) システム構築費等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム構築・改修に係る設計・開発に要する経費 ・ソフトウェアのカスタマイズ、設定に要する経費 ・クラウドサービスの初期設定に要する経費 ・その他公社が業務を行うために特に必要と認めるもの <p>(2) ソフトウェア及びクラウド利用料等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの運用・保守に要する経費 ・ソフトウェアの利用に要する経費 ・ソフトウェアの運用・保守・サポートに要する経費 ・クラウドサービスの利用に要する経費 ・クラウドサービスの運用・保守・サポートに要する経費 ・データ分析に要する経費 ・その他公社が業務を行うために特に必要と認めるもの 	費用名称	大項目	概要	詳細	単価	数量	料金	①-1	ソフトウェアのカスタマイズ			①-2	クラウドサービスの利用			②	データ分析			③-1							③-2							.						
費用名称	大項目	概要	詳細	単価	数量	料金																																													
①-1	ソフトウェアのカスタマイズ																																															
①-2	クラウドサービスの利用																																															
②	データ分析																																															
③-1																																																			
③-2																																																			
.																																																			

3. 助成対象経費について - ⑥

番号	質問	回答
307-4	<p>システム構築等、ソフトウェア及びクラウド利用料等の助成を申請する場合、見積書に必要な記載事項を教えてください。</p>	<p>●第1号様式 別紙内訳明細書 イメージ</p>  <p>The image displays the 'Inner Statement of Account' (内訳明細書) form for Type 1 applications. At the top, there is a table for selecting expenses (助成対象) and their types (費用の種類). A blue arrow points from this table to a callout box stating: '都事業にかかる経費には○を選択' (Select ○ for expenses related to local government operations). Below this is a large table for detailing expenses (内訳明細書). A yellow box highlights the '助成対象' column, and another blue box highlights the '費用の種類' column. A blue arrow points from the '費用の種類' column to a callout box stating: '見積明細等の項目に突合' (Match with items in the quotation details). Another blue arrow points from the '助成対象' column to a callout box stating: '見積明細等の内容を正確に記載' (Correctly record the content of the quotation details).</p>

4. 助成事業の公表について

番号	質問	回答
401	東京都からの上乗せポイントがあることについての周知は、メールのみでも良いのでしょうか？	本事業の対象となる方に確実に周知でき、都が証拠書類として認める方法であれば、その手法は問いません。
402	すでに電気事業者が独自に実施しているキャンペーンに参加している需要家に対し、改めて、本事業への参加登録をしてもらう必要がありますか？	電気事業者独自のキャンペーンに参加している需要家に対し、追加の参加登録なしに本事業にも参加できることを周知している場合は、改めて参加登録をしないことも可能です。
401	自社独自で先行してキャンペーンを実施し、すでに利用規約がある場合、本事業を実施するにあたって、キャンペーンの利用規約を変える必要がありますか？	需要家に対して、確実に本事業の内容を周知できる方法であれば、利用規約の改正によらないことも可能です。

5. 助成対象事業者による報告等について

番号	質問	回答																																																										
501	<p>東京都事業による上乗せポイント付与があることを需要家に周知した資料、節電達成した需要家数及び日数の根拠書類として、どのようなものを完了届に添付すればよいでしょうか？</p>	<p>●需要家に周知した資料 周知した証拠の例として、HP の場合は URL と PDF を、メールやLINE、アプリ等の場合は画面キャプチャ（個人情報を除く）を、パンフレットの場合は PDF を添付してください。</p> <p>●需要家数及び日数詳細の資料（需要家数算定のデータ一覧）イメージ</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p>都民の受電点ごとに節電を達成した場合 ①節電達成回数を集計 ②節電達成の場合はさらに再エネ100%契約等を集計</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">供給地点特定番号</th> <th rowspan="2">節電達成回数</th> <th colspan="2">(メニュー名)</th> </tr> <tr> <th>対象</th> <th>対象外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>5</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>2</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>3</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>4</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td><td>⋮</td></tr> <tr><td>39</td><td>5</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>40</td><td>4</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td>30</td><td>15</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td><td></td><td>34</td></tr> </tbody> </table> <p>個人情報は不要</p> <p>達成した需要家および達成回数、達成しなかった需要家を示す</p> <p>節電達成した人数を示す</p> </div>	供給地点特定番号	節電達成回数	(メニュー名)		対象	対象外	1	5	○		2	4		○	3	3	○		4		—	—	5	1	○		6	2	○		7	3	○		8	4		○	⋮	⋮	⋮	⋮	39	5	○		40	4		○	合計		30	15				34
供給地点特定番号	節電達成回数	(メニュー名)																																																										
		対象	対象外																																																									
1	5	○																																																										
2	4		○																																																									
3	3	○																																																										
4		—	—																																																									
5	1	○																																																										
6	2	○																																																										
7	3	○																																																										
8	4		○																																																									
⋮	⋮	⋮	⋮																																																									
39	5	○																																																										
40	4		○																																																									
合計		30	15																																																									
			34																																																									

502	<p>完了届提出時に「ポイント購入の支払いの証憑（写し）（領収書等）」の提出が必要とありますが、領収書が発行されない場合は領収メールの写しでも良いでしょうか？</p>	<p>領収書で確認できる下記の内容相当のものが記載されていれば、領収メールの写しでもかまいません。</p> <p>＜ポイント購入の支払証憑、領収書の場合＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領収書の発行日 ・本領収書の宛先 ・総額 ・名目（都事業におけるポイント代であることがわかる名目） ・内訳 <ul style="list-style-type: none"> ① ポイントの種類 ② ポイント額 ③ ポイント総数 ④ ポイント総数の内訳 <p>例) 再エネ 100%メニュー以外</p> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>200 円</td> <td>×</td> <td>口件</td> </tr> <tr> <td>400 円</td> <td>×</td> <td>口件</td> </tr> <tr> <td>600 円</td> <td>×</td> <td>口件</td> </tr> <tr> <td>800 円</td> <td>×</td> <td>口件</td> </tr> <tr> <td>1,000 円</td> <td>×</td> <td>口件</td> </tr> </tbody> </table> <p>再エネ 100%メニュー</p> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>400 円</td> <td>×</td> <td>△件</td> </tr> <tr> <td>800 円</td> <td>×</td> <td>△件</td> </tr> <tr> <td>1,200 円</td> <td>×</td> <td>△件</td> </tr> <tr> <td>1,600 円</td> <td>×</td> <td>△件</td> </tr> <tr> <td>2,000 円</td> <td>×</td> <td>△件</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤ 手数料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本領収書の発行元 	200 円	×	口件	400 円	×	口件	600 円	×	口件	800 円	×	口件	1,000 円	×	口件	400 円	×	△件	800 円	×	△件	1,200 円	×	△件	1,600 円	×	△件	2,000 円	×	△件
200 円	×	口件																														
400 円	×	口件																														
600 円	×	口件																														
800 円	×	口件																														
1,000 円	×	口件																														
400 円	×	△件																														
800 円	×	△件																														
1,200 円	×	△件																														
1,600 円	×	△件																														
2,000 円	×	△件																														

6. HTT情報の周知について

番号	質問	回答
601	公社から提供されたHTT情報を、年5回（冬季の都節電推進期間のみ節電キャンペーン実施の場合は、申請年度は3回）需要家に周知する方法はHPに掲載するので良いのでしょうか？	HP等一斉に周知する方法ではなく、各需要家に個別でメールやアプリ等による周知を行ってください。
602	節電キャンペーンに申し込んでいない人に対しても、HTT情報を送付しなければいけませんか？	交付要綱第四条三項「電気事業者は、提供されたHTT情報を速やかにデジタル技術を活用して需要家に周知すること。ただし、電気事業者からのお知らせ等の受取りに同意していない需要家は除くことができる。」とあり、キャンペーン参加者に限らず、契約している需要家（ただし、電気事業者からのお知らせ等の受取りに同意していない需要家は除くことができる。）への周知が交付の要件です。 同意がないこと等で送付対象が限定される場合は、その状況をお知らせください。

注：改訂履歴

公開年月日	改訂内容
2022年7月15日	初版公開
2022年7月20日	Q.208追加
2022年8月1日	Q.305追加 ※7月20日公表したものから修正しております。
2022年9月16日	Q.306、Q.307、Q308、Q.502、Q.601、Q602追加
2023年2月1日	Q.305削除

2023年4月21日 ····· Q.502 追記

2023年10月27日 ····· Q.101、Q.306、Q.307、Q.501、Q502 追記

2024年2月1日 ····· Q.209 追加